

「新次元林業プロジェクト」(案)の概要

1 戦略目標

～森林林業を核とした「地方創生」を目指して～

項目	プロジェクト開始前 (H16)	現状 (H25)	目標 (H36)
県産材の生産・消費量	17万m ³	29万m ³	60万m ³
新規林業就業者数 (H17からの累計)	一人	216人	546人

2 実現に向けた行動計画(平成27年度～平成30年度)

(1) 川上 <林業生産>

①森林施業

増産のため、主伐の推進体制の強化、造林負担の軽減

- ・ウッド・ソリューションセンターの設置

②生産基盤

生産量の増大に必要な高性能林業機械の導入等を支援、路網整備を推進

- ・本県に適した主伐生産システムの構築
- ・新林業生産システム(高性能林業機械の導入)
- ・地形や施業に合わせた林内路網の開設

③担い手

新規就業者の確保、育成機関を創設すると共に、起業や技術向上を支援

- ・徳島林業アカデミー(仮称)の開講
- ・林業機械サポートセンター(仮称)の創設

(2) 川中 <木材加工>

①加工体制

加工能力の強化、バイオマス発電(D材)用材の加工体制の構築を支援

- ・徳島ブランドの強化と高次加工の促進
- ・加工の合理化、規模の拡大

②流通体制

増産に対応した原木仕分け、ニーズに対応できる製品流通体制の整備

- ・生産地の近くにサテライト工場を整備
- ・県産材製品を備蓄する体制づくり

③商品開発

木材利用創造センターを拠点に新商品開発を実施

- ・オリンピックや輸出に対応する新規用途・商品の開発

(3) 川下 <木材利用>

①県内需要

関係団体と連携して、官・民の積極的な県産材利用を推進

- ・「木造建築コーディネーター」による公共木造の推進
- ・「住まいの相談広場」の設置

②木育

木育情報の収集、発信とともに県民が集う拠点を整備

- ・「とくしま木育情報センター」の設置
- ・木育拠点「すぎの子木育広場(仮称)」の設置

③県外需要・海外輸出

高付加価値製品の首都圏での需要拡大、海外へ住宅まるごと輸出を促進

- ・県産木造住宅の輸出
- ・四国4県連携木材輸出プロジェクト(仮称)の実施